

# IoT技術を活用して従業員の位置や場所の 利用状況をデジタルに収集

～EXBOARD for Office の導入事例のご紹介～

2022/10/19富士通株式会社

Digital Solution本部

スマートワークソリューション事業部

ソリューション部

# Work Life Shift

2020年7月発表

FUJITSU

固定的なオフィスに出勤する従来の通勤の概念を変え、多様な人材が高い自律性と相互の信頼に基づき、場所や時間にとらわれず、お客様への提供価値の創造による社会の変革に継続的に取り組むことができる働き方を実現するため、人事制度とオフィス環境整備、組織カルチャー変革の面から、様々な施策を推進しています。



## Smart Working

最適な働き方の実現



## Borderless Office

オフィスのあり方の見直し



## Culture Change

社内カルチャーの変革

# After コロナを見据えながら、 Work Life Shiftはさらに進化

1. Hybrid Workの実践とエクスペリエンス・プレイスへの進化
2. DX企業としての働き方の進化
3. WorkとLifeのシナジー追求

上記を目指し、Afterコロナを見据えた「**Work Life Shift2.0**」を展開  
生産性の向上、  
リアルとバーチャル、WorkとLifeの相乗効果による新たな価値の創出、  
Well-beingの向上のリファレンスモデルとなり、  
社会やお客様の課題解決や持続的成長に貢献



## Work Life Shift 2.0

実践し、厳選してご提供

富士通  
社内実践

これからも感染を防ぐ **安全**

離れた場所でも情報を **共有**

どこでも仕事ができる **環境**

これからの時代に必要な環境の整備をお客様へ

Smart Working

働き方の進化

Culture Change

働き方の文化の変革

Borderless Office

働く場所の自由な選択

**FUJITSU Work Life Shift**

# 働き方はどう変わった？

Work Life Shiftにおいて、

- ・ 今までの固定的なオフィスからフリーアドレスオフィスへ移行
- ・ 新たなオフィスの活用を実践しHybrid Workを推進



## ○ Hybrid Workに対する従業員の声

- ・ 通勤時間が無くなったことで心身ともに余裕ができ仕事効率が上がった。  
(エンジニア職 勤続4年)
- ・ 思っていた以上にテレワークが定着した。  
チームメンバーとオフィスで集まるとチーム作業の意識が高まり捗る  
(ビジネスプロデューサー職 勤続15年)

# 新たな働き方で発生する問題

フリーアドレス化などにより

**仕事相手を探すのに  
手間と時間がかかる**



オフィスの

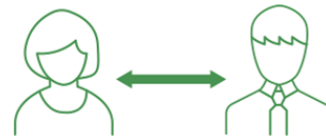
**利用状況や混雑状況が  
わからない**



コロナ渦において

**感染症防止・発生時の  
対策が打てていない**



**利便性****快適性****安全性**

『EXBOARD for Office』は、社員の位置情報をデジタルに収集・可視化する事で、  
利便性・快適性なオフィス環境づくりや安全性の高いオフィス対策づくりを支援します。

# EXBOARD for Officeで解決

# 新たな働き方での課題を解決する EXBOARD for Office ご紹介



# 1 働く相手をすぐに探せる

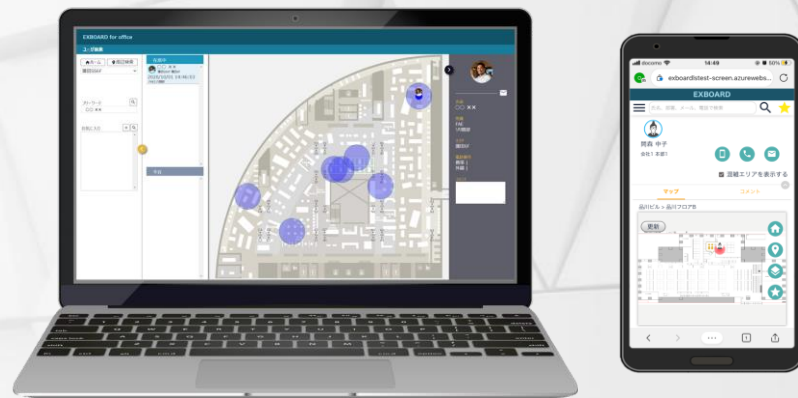
社員の位置情報を収集・可視化する事で、オフィスで働く相手を探す時間と手間を軽減し、コミュニケーションロスの防止や利便性を向上します。

## コミュニケーションロスの防止

- 探す手間や時間の軽減により、コミュニケーションロスを軽減
- WEBブラウザで、PCやスマートフォンでどこからでも検索可能

## 新たなコミュニケーションの創出

- 得意分野・資格情報などのプロフィール記載項目からも検索可能
- 社員同士の新たな接点創出をサポート



『EXBOARD for Office』画面イメージ

## 2 快適で創造性のあるオフィスづくりを支援

オフィスの利用状況を把握することで、社員が働きやすい最適な空間づくりを支援します。

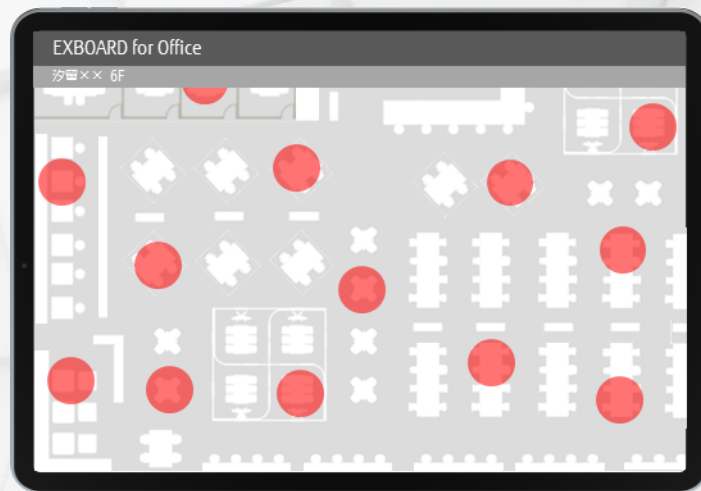
### オフィスの利用状況を把握

#### 【利用者】

- オフィスの利用状況をリアルタイムに確認

#### 【管理者】

- 混雑時間帯・人気エリアなど、オフィスの利用傾向を把握することで、最適な空間づくりを支援



使用スペースを表示。（注）画像はイメージです。

### 3 感染症対策ツールとしての活用

社員の位置情報を収集・可視化する事で、リアルタイムな状況の把握やアラートによる「密」の回避、感染者発生時の迅速な対応を支援します。

#### 「密」を避けた働く場所選び

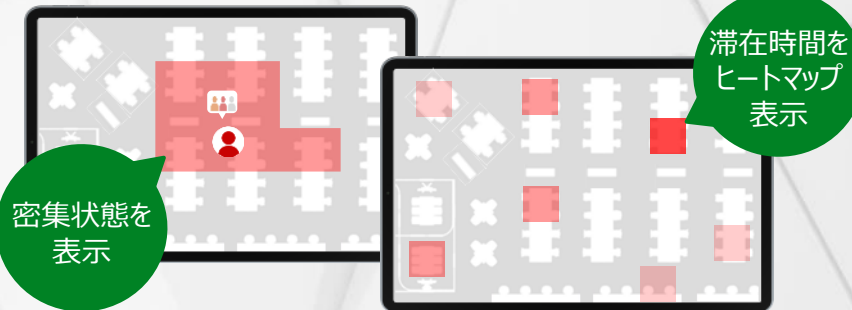
- エリア毎の密集状況を色別で確認可能
- 密集状態発生時は、アラート通知

#### オフィスの「密」を事前に検知

- 出社予約による事前把握
- 組織単位の出社実績確認

#### 感染経路や接触者状況の把握

- 移動経路、接触有無・時間 等の早期把握



(注) 画像はイメージです。

# EXBOARD for Office 導入事例



## Work Life Shift推進におけるコミュニケーション支援

出社状況や居場所を瞬時に特定！  
多様化する働く場所に左右されないコミュニケーションを実現



### 課題・技術・効果



#### コミュニケーションロスの増加

- ・誰がどこにいるかを知りたい
- ・様々な働く場所から今日どこで働くかを決めたい
- ・頻繁な組織変更やデバイス変更へ柔軟に対応したい



#### 位置情報をリアルタイムに収集

- ・社給のPCやスマホのWifi電波を活用
- ・蓄積したデータを瞬時に公開しスマホで閲覧可能
- ・ActiveDirectoryと連携した社員情報の自動取込



#### 全社的なコミュニケーション活性化

- ・社員の居場所を特定しコミュニケーションロスを防止
- ・行動の可視化よりオフィス環境や働き方の気づき
- ・社内システムとの自動連携により運用管理の手間を低減



### 活用シーン/イメージ

#### 利便性



オフィス空間での所在や  
利用状況の把握

#### 快適性



目的に合わせた  
環境作り



所在把握・検索



在席状況把握



## 感染症対策や罹患者発生時の迅速な対応を実現

セキュリティレベル自動変更・出勤状況や密集度を見える化する事による感染症対策の実施  
感染者が見つかった場合の「行動エリア」と「接触者」を把握することで迅速な対応を可能に



### 課題・技術・効果



#### 感染症対策や万一の罹患者発生時に迅速に対処したい

- ・ オフィス内の密集度(感染症対策状況)を把握したい
- ・ 感染症発生時に感染者の行動履歴、接触者の特定、消毒対象エリアを特定したい

#### 位置情報をほぼリアルタイムに収集、蓄積

- ・ 社給のPCやスマホのWifi電波を活用
- ・ 蓄積したデータを瞬時に公開しオフィスの「密」状態や履歴の参照が可能

#### 安心・安全なオフィス実現と感染症対策管理コストの削減

- ・ オフィスの使われ方(密集度)の可視化で出勤や在席場所の柔軟な変更が可能
- ・ 蓄積データから接触者や滞在場所を特定し迅速な対応可能



### 活用シーン/イメージ

#### 【社員】

- ・ 出社しないと密集度が確認出来ない

#### 【管理者】

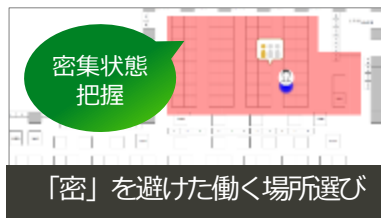
- ・ 目視による定期的なチェックが必要
- ・ 感染者発生時、本人や関係者へのヒアリング等に多大な工数がかかる

#### 【社員】

- ・ 社外から状況が確認可能

#### 【管理者】

- ・ PC・スマホで確認
- ・ 感染者の滞在場所や移動経路把握可能
- ・ 接触者の特定が容易





# オフィス利用状況のデジタル化による環境への配慮

出社状況データを分析して、社員食堂の食材手配量を調整することでフードロス対策に活用  
さらに、環境配慮に貢献できるオフィスのムダを排除



## 課題・技術・効果



### 出社状況の変化による資源ロスを抑制したい

社員食堂の食材、紙・トナー等の消耗品、  
その他備品などを環境に配慮して過不足なく調達したい



### 位置情報をリアルタイムに収集

- ・社給のPCやスマホのWifi電波を活用
- ・蓄積したデータを瞬時に出社傾向の分析が可能



### オフィス内の調達のムダ・ムラを削減

- ・出社状況の予測による調達計画の最適化
- ・カーボンニュートラルへの貢献



## 活用シーン/イメージ

Before



働き方の多様化により従業員の  
出社状況の把握が困難なため  
最適な調達量が分からない

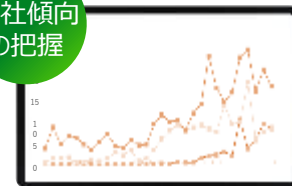


After



過去の出社状況から推測し、  
最適な発注によりロス削減

出社傾向  
の把握

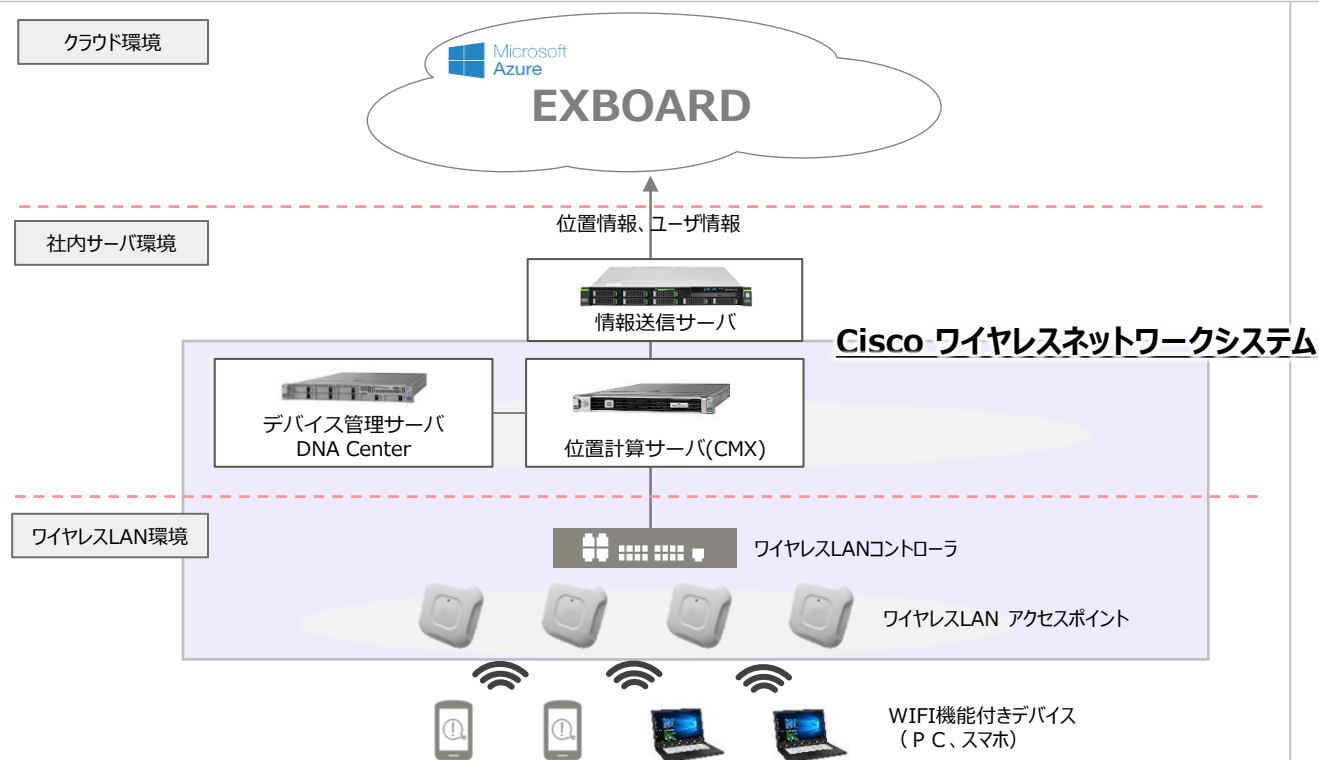


# 参考システム構成



# システム構成例（位置サーバ オンプレパターン）

## ■ PCやスマホのWi-Fi電波で位置検索可能に



### 特徴

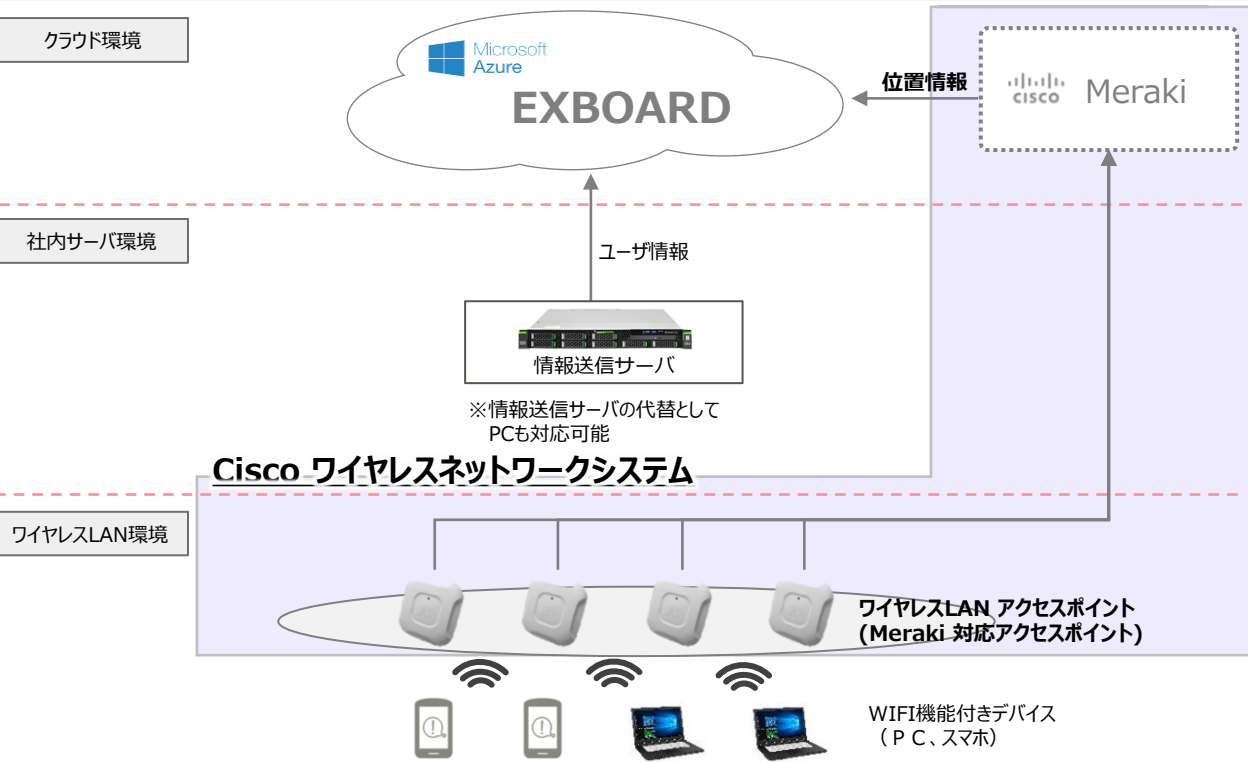
- 従業員所有のスマートフォンやPC等で位置特定が可能です。
- 従業員所有デバイスにアプリケーションのインストールは不要です。

※ Cisco製品での構成例です。  
Aruba製品でも対応可能

※環境により位置の誤差は大きく変動します。  
精度はCisco CMXの仕様に従います。  
EXBOARDは精度保証はできません。

# システム構成例（位置サーバ クラウドパターン）

## ■ PCやスマホのWi-Fi電波で位置検索可能に



### 特徴

- オンプレパターンと比較して「ワイヤレスLANコントローラ、デバイス管理サーバ、位置計算サーバ、情報送信サーバ」が必要無いため全体コストを下げられます。

※Meraki環境への対応は2022年上期中に対応予定

※環境により位置の誤差は大きく変動します。  
精度はCisco CMXの仕様に従います。  
EXBOARDは精度保証はできません。

**Thank you**

